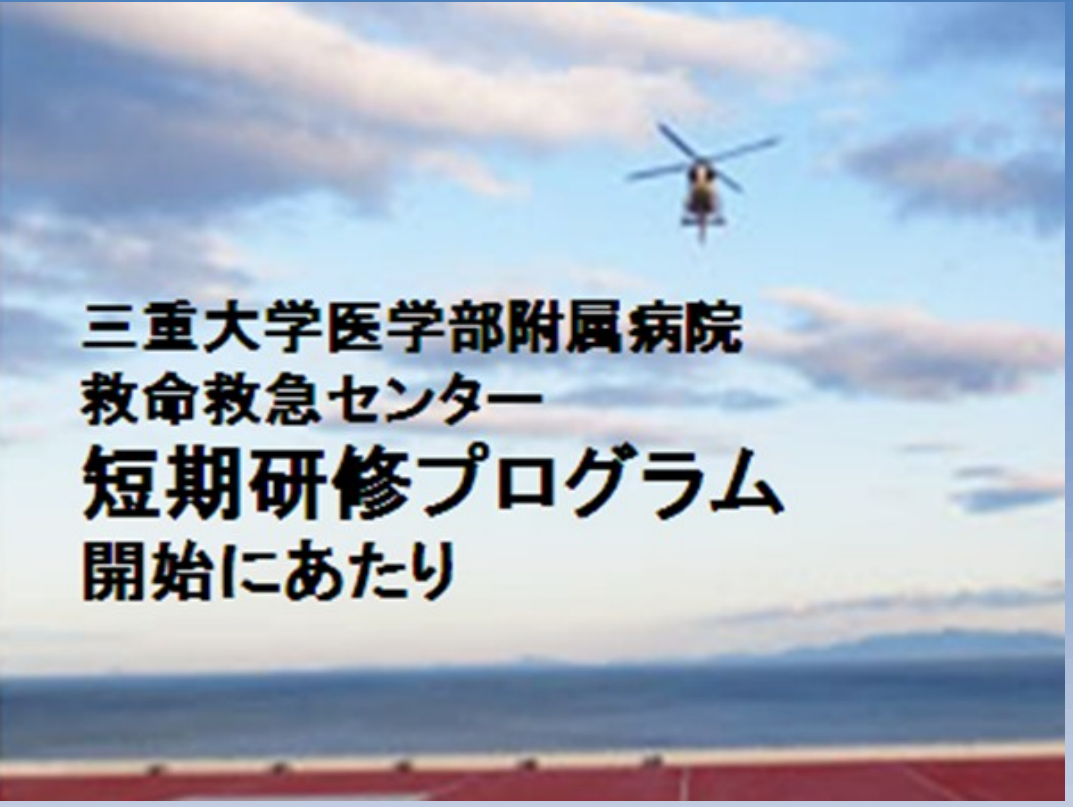




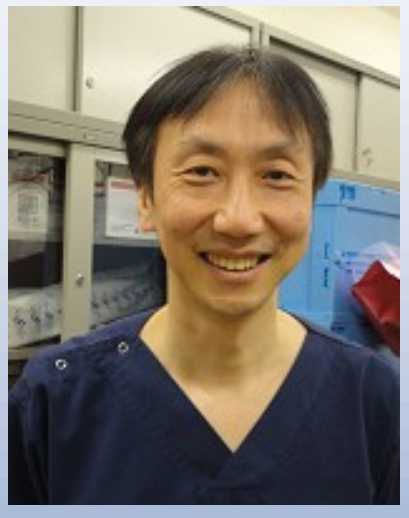
三重大学医学部附属病院
救命救急センター助教
山本　章貴

三重大学医学部附属病院救命救急センターにおいて平成23年4月より勤務しており、丸2年になりました。現在、当センターにおいて３次救急、そして集中治療に携わっています。またフライトドクターとしてドクターヘリに搭乗し病院前救護にも携わっています。脳神経外科専門医、脳神経血管内治療専門医の資格も持っているため、主に頭部外傷や脳血管障害のケースを担当しています。

もともと脳神経外科医ではありますが、瀕死の患者を救うためには脳神経外科のスキルだけでは不十分であり、救急の初期段階から全身を診られる能力の必要性を感じていました。 そのため平成20年から3年間、大阪の泉州救命救急センターに勤務しました。そこでは脳神経外科医としての経験をいかしつつ、救命救急の経験をフルに積み重ねることができ、救急専門医を取得しました。三重大学に救命救急センターが出来たことを機に三重に戻り、今回、当センターで短期研修プログラムを始動することになりました。

当センターにおいては、大学病院ならではの最新鋭の機器類が充実しており、最先端の医療を提供しております。また各分野のスペシャリストが身近に居り、各関連機関のありとあらゆる力が集結され進化し続ける恵まれた環境ですので、間違いなくスキルアップできます。 また救命救急センターに所属している医師自身が、脳神経外科、循環器、消化器、麻酔などの専門医ですので、救急だけでなく、集中治療に関してもより専門的な視点で管理するスキルを身に着けることできる点も特筆すべきことです。

研修期間は、可能であれば「１年間」が望ましいと思いますが、皆様は県内各所で重要な役割を担う先生ばかりですので、「最低半年」を目安に検討していただいてはいかがでしょうか。救急専門医を目指す方だけでなく、各分野へすすまれる先生方に、ぜひこの短期プログラムを研修していただくことをお勧めします。ご所属の病院へ戻られてからも、共に三重の救急医療を支える医師として連携が広がることを望んでいます。皆様に当センターでお会いできることを楽しみにしております。



三重大学医学部附属病院
救命救急センター長
教授　今井　寛

当センター助教山本章貴先生は、私がセンター長に就任した直後から、救命、集中治療両方に精力的に携わって頂いており、ご自身の脳外科のスキルを発揮していただいきつつ、ドクターヘリはもとよりさらにセンター全体を見渡してあらゆる場面で手を差し伸べられるコアメンバーとしてご活躍しております。山本先生をはじめ、スタッフは全員、各分野においてスペシャリストですので、当センターでの「短期研修プログラム」によって必ず、スキルアップしていただくことができます。ぜひ、一人でも多くの先生方に、ここで培ったスキルをご所属の病院へ持ち帰って頂き、三重県内全域での救急医療と集中治療を共に支えていただきたいと強く願っています。ご所属の病院でのお役目や勤務との兼ね合いなどについてご心配なこと、見学や相談の依頼、5月に新設された災害救急医療・高度教育研究センターについても、いつでもご連絡ください。

【問い合わせ先】
三重大学救命救急センター
℡　059-231-5329
E-mail kyukyu2@clin.medic.mie-u.ac.jp



三重大学　救命救急センター
短期研修プログラム



はじめに

- 三重県下で重症の傷病者が救急車により搬送される病院リストを示す。

所在地	名称
桑名市	青木記念病院
	桑名西医療センター（桑名市民病院）
	桑名南医療センター（桑名市民病院分院）
	森栄病院
	桑名市東医療センター（山本総合病院）
いなべ市	いなべ総合病院
四日市市	三重県立総合医療センター
	市立四日市病院
	四日市社会保険病院
菰野町	菰野厚生病院
鈴鹿市	鈴鹿回生病院
	鈴鹿中央総合病院
津市	三重大学医学部附属病院
	三重中央医療センター
伊賀市	岡波総合病院
名張市	名張市立病院
松阪市	松阪市民病院
	松阪中央総合病院
	済生会松阪総合病院
伊勢市	市立伊勢総合病院
	伊勢赤十字病院（山田赤十字病院）
尾鷲市	尾鷲総合病院

これらの病院には基本的に重症な患者が運ばれ、中には3次対応の必要な患者が存在する

このような3次対応の必要な患者へのマネージメントを学ぶ場が三重県では不足していると思われる

http://www.pref.mie.lg.jp/IRYOS/HP/jisshikijyun/2gou.pdf

当院のマンパワー

- 全診療科が関与する中央診療部門
- 救急専門医取得済みのスタッフが24時間体制で救急、集中治療を運営する。
- 三重県ではドクターヘリの運行を平成24年2月から開始し、当院も参加。県下で発生した3次対応の必要な患者に対処している。
- スタッフには

  日本救急医学会指導医、専門医、日本集中治療学会専門医、日本循環器学会専門医、脳神経外科学会専門医、外科学会専門医、麻酔科学会専門医が常駐しており集学的医療を実践している

到達目標

- 重症患者の全身管理方法を習得する。
- 科学的根拠に基づく医療を実践できる。
- 医学文献検索やプレゼンテーションが出来る。
- 気道確保困難症例に対応できる
- 重症頭部外傷、神経疾患に対応できる。
- 急性循環不全に対応できる。
- 急性呼吸不全に対応できる。
- 急性血液浄化療法を実践できる
- 敗血症のマネージメントを実践できる。
- 中毒疾患、交通外傷に対応できる。

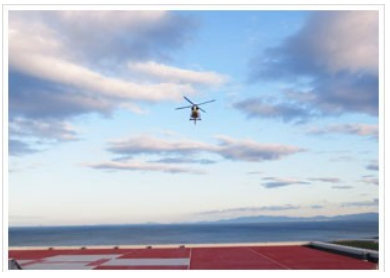


目　的

- 三重県下に存在する2次救急を担当する病院の後期研修医に三重大学での救命センター短期研修を提供する

→三重県の救急医療レベルを底上げする





学習内容

- 3次救命センターでの高度医療を体験

PCPS, 人工呼吸器管理（APRV,IPV,HFOV）
気管切開術, 血液浄化療法, 蘇生後低体温療法

- 基礎的な勉強会

抄読会、学会発表（研修期間による）
ICU/ERで必要となる基礎的な勉強会
FCCS[1],JATEC[2]など救急、集中治療医学を学ぶ講習会への参加を促す

1) http://www.jseptic.com/fccs/index.html
2) http://www.jtcr-jatec.org/index_jatec.html

募集内容

- 後期研修医

  卒後3年目から9年目まで
  内科・外科を問わない
  救急医歓迎
- 期間

  最低3ヶ月から最大1年間

当院での研修中の身分・給料・宿舎は、ご本人の要望とご所属の病院のご都合もあわせてご相談させていただきます。





【問い合わせ先】
三重大学医学部附属病院救命救急センター
TEL　059-231-5329
メールアドレス　kyukyu2@clin.medic.mie-u.ac.jp

https://www.facebook.com/mieuniv.eccc